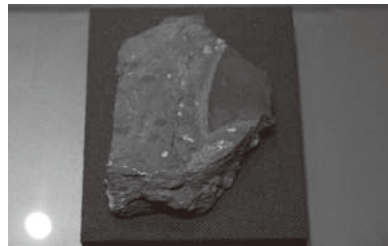
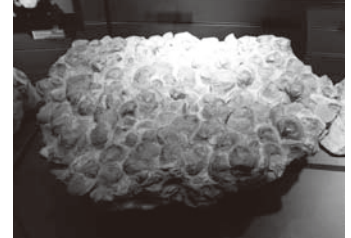


● 北九州の土地のなりたちや岩石、化石について調べてみましょう。

(1) エンバイラマ館のリサーチゾーンで「九州島の生い立ち」ビデオや解説パネルを見て答えましょう。 ※ビデオ約3分20秒

- 北九州で一番古い地層は約(3億5000万)年前のものです。
- 恐竜がいた時代の北九州にいた大型肉食恐竜は、(ワキノサトウリュウ)という名前です。
- 八幡西区の若葉という町から(貝)の化石が見つかっています。今の若葉の町をつくっている土地は、大昔には(海の底)だったといえます。
- 九州が今のような島となったのは約(200万)年前のことです。
- 約9万年前、阿蘇山の噴火で発生した火砕流は、北九州を越えて、(山口県)まで到達しました。



(2) 北九州やその周辺で発見された化石で、印象に残ったものについて書きましょう。

名前「 ※ ワキノサトウリュウ 」
時代 中生代 白亜紀 前期
発見された場所 宮若市 千石峡
ひとくちメモ ※ここに上げたものは例です。リサーチゾーンには多数の化石を展示してあります。

地質の名前	年代
人工地質体	現代
古砂丘	約10万年前～現代
玄武岩	約170万～70万年前
耶馬溪層	
芦屋層群	約3000万年前
大辻層群・幡生層	
直方層群	
深成岩類	約9000万年前
半深成岩類	
八幡層	約1億3000万年前
下関亜層群	
脇野亜層群	
呼野層群	約3億年前
石灰岩	
非石灰岩	
三郡変成岩	

(3) 自然発見館の「北九州市の地質模型」で、自分の住んでいるところの土地について調べましょう。

自分の学校がある場所の地層の名前	どれくらい前にできた地層ですか？
例 脇野亜層群	例 約1億3000万年前